



支部報

第268号

発行所 (公社)神奈川労務安全衛生協会 横須賀支部 TEL 845-9522 FAX 845-9510 発行責任者 配川 勝正 編集責任者 西川 寛

『危険に気付くあなたの目そして摘み取る危険の芽 みんなで築く職場の安全』

全国安全週間 7月1日~7日

去る六月二日(水)市立勤労福祉会館に於いて、横須賀労働基準監督署主催、横須賀地区防災団体等協議会主催で第九七回全国安全週間横須賀地区推進大会が開催されました。

大会は、木造家具建築工事等災害防止協議会横須賀地区会事務局の吉田氏司会のもと、神奈川労務安全協会横須賀支部の配川支部長が、主催者代表の挨拶を行い開始された。

◎主唱挨拶(概要)

横須賀労働基準監督署 中村署長 日頃から労働災害の防止に特別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

全国的に休業四日以上死傷者数は三年連続で前年を上回る状況となっております。

労働災害は長期的に見れば減少しており、これは産業安全に長年携わってこられた多くの関係者の



挨拶される中村署長

方々の努力の賜物です。しかし、近年は増加傾向に歯止めがかからない状況です。第一四労働災害防止計画が目指す社会は、どのような働き方においても、労働者の安全と健康が確保されていることを前提とし、多様な形態で働く一人一人が潜在力を十分に発揮できる社会の実現となります。

近年は、就業人口が高齢化し、高齢労働者の労働災害や、転倒や腰痛などの労働者の作業行動に起因する労働災害が顕著に増加しております。

働く一人一人がかげがえのない存在であり、一人の被災者も出さないという理念のもと、さらなる労働災害の減少を図ることは不断の努力が必要です。安全週間は契機として労働災害防止の重要性について認識をさらに深めていただき、引き続き職場における安全管理活動の定着を図られるようお願い申し上げます。

◎横須賀市祝辞

田中副市長 上地市長が公務でご欠席のため、メッセージを田中副市長が代読さ



挨拶される田中副市長

れました。

「本日は令和六年度の全国安全週間横須賀地区推進大会にお招きいただき、誠にありがとうございます。

労働災害を少しでも減らし、労働者一人一人が安全に働くことができる職場環境を築くためには、昨年三月に国で策定された第一四労働災害防止計画に基づく施策を推進する努力が必要であり、横須賀市といたしまして、今年四月から建設産業の労働環境改善に向け、本市が発注する工事現場においては週休二日を確保した工事を実施するなど、皆様のご協力を賜りながら、職場の安全確保に向けた対策を推進してまいります。

私たちは今後も労働災害防止に向けた取り組みを率先して行っていきます。そして横須賀地区から死亡災害を出さないという強い思いで、誰もが安全で安心して働ける職場環境を作り上げていただくことを切に願います。」

◎趣旨説明概要

横須賀労働基準監督署

吉田安全衛生課長

労働災害は、新型コロナウイルスによるものを除いたとしても近年増加傾向となっております。神奈川県の数値は三〇年前に戻っていると



説明される吉田課長

いうことです。業種ごとに特徴はあるものの、転倒・動作の反応、無理な動作による災害は全産業で見ても半数近くで、年齢別で見ると、その半数が五〇歳以上となっております。

横須賀所管内の災害は、平成二九年からずっと増加しており、平成二九と令和五年を比較すると、六五人の増加です。

安全週間での取組みを含め、転倒災害の防止のため、職場環境面の整備とともに、労働者の身体機能にも着目した対策の実施をお願いいたします。

また、熱中症予防については熱中症の疑いで休ませるときは、一人きりにしないことが最も重要とのことです。

安全週間は契機に労働災害防止の重要性を再認識していただき、労働災害のない職場作りに尽力していただければと思います。

◎大会宣言

三浦労働基準協会の出口氏により、大会宣言が行われ、本年度のスローガンを参加者全員で唱和し、職場のゼロ災害に総力をあげて取り組むことを誓った。

その後、帝京大学大学院助教の山田氏が特別講演を行った。(文責 大内)

「第83回全国産業安全衛生大会 in 広島」のご案内

令和6年11月13日(水)~15日(金)の3日間、広島で開催。大会初日は総合集會として、労働安全衛生の推進に寄与された方に対する表彰式、特別講演が行われます。2日目、3日目には分科会として、リスクアセスメント、DX、ダイバーシティ、安全管理活動、機械・設備等の安全、化学物質管理活動、メンタルヘルスなどをテーマに、事業場の皆様による研究発表、安全衛生の専門家による講演などが行われます。会員事業所の皆様多数のご参加をお願い申し上げます。

- \*大会テーマ「変わる時代に変わらぬ誓い 安全・健康・平和な未来」
\*11月13日(水) 総合集會 広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ) 特別講演 Departare Partners代表/元陸上選手 為末 大氏「熱達しつづけるために」
\*11月14日(木)・15日(金) 分科会 広島国際会議場、広島市文化交流会館、JMSアステールプラザ
\*参加申込: 特設ウェブサイト https://jisha-taikai2024.com 申込締切: 11月1日(金)
\*参加費(消費税込): 一般 1名16,000円 中災防賛助会員 1名8,250円(会員口数1口につき1名分適用)

講演

『転倒・腰痛予防対策 座りすぎは危険!?!』

帝京大学大学院 公衆衛生学研究所 助教 山田 卓也 氏

本講演では、腰痛・転倒予防に関するストレッチ体操などを交え、職場の腰痛予防、職場の転倒予防、座りすぎによるリスクと対策などについての講話がありました。



山田 卓也 氏

◇職場の腰痛予防について◇

腰痛の要因としては、不良な姿勢、長時間の座位、長時間労働、さらには職場のストレスや睡眠不足など、様々ことが影響して腰痛が起きるといわれています。

腰痛の予防として、①パソコン作業 作業台やリフトの高さの調整等の作業環境管理、②長時間労働の是正、小休止を設けるなどの作業管理、③健康管理としてストレスチェック、④健康教育とエクササイズの継続、などの取り組みがあります。また、長時間座っていることで約25%腰痛の発生を高めるといわれています。

胸椎と股関節の柔軟性が低下すると腰に負担がかかるので、腰痛予防を目的とした体操では、胸を柔らかくすることが重要です。

◇職場の転倒予防について◇

転倒災害は、高齢の働く人が年々増えていることに伴い転倒災害も増加しており、性別・年齢別では、五〇代の女性と六〇歳以上の女性で全体の約五割を占めている状況

です。なお、高次脳機能である認知機能は加齢とともに低下していき、二重課題などがどんどん苦手になっていきます。注意を分配して色々に向いて取り組むということが難しくなり、何かを考えながら歩いていると、何もないところでも転ぶということが起こることが科学的にも分かっています。

転倒予防のための身体的特性としては、ふらつきが少なく立っていられるのが静的バランスで、ふらついても転ばずにバランスをとるのが動的バランスとなります。静的・動的のバランス、いずれも股関節と足首の柔軟性によってバランスをとっています。高齢者は若齢者と比べ、足首と股関節が固くなってバランスをとれる範囲が小さくなってきたので、転倒のリスクが高くなっています。転倒防止には、足首と股関節を柔軟にすることが、筋力をつけてバランスを保つことが大事といわれています。

◇座りすぎによるリスクと対策について◇  
体を動かさないとという不活動は、タバコ、高血圧に次いで健康リスクが高く、特に心臓病とがんに対する影響が強いということが分かっています。九時間以上座りすぎると、死亡リスクを高めるといわれるのが明らかになっていますが、日本は他国と比べても、座っている時間が一番長いといわれています。

対策としては、健康経営やスポーツエールカンパニーなどの先行事例を横展開するのがいいかと思えます。一日九時間以上座りすぎると

死亡リスクを高めるといわれていますので、少しづつでも座りすぎを減らす工夫をしましょう。

本講演は、頭と体を使った、聴講者参加型の大変わかりやすい講演でした。楽しみながら、転倒腰痛予防対策を学ぶことができました。



横須賀労働基準監督署 監督課長 杉田 信代 氏

今年四月一日の人事異動で、横須賀労働基準監督署の監督課長に就任された杉田信代氏を紹介いたします。

杉田氏は、平成二四年に入省し、秋田労働局で三年間、東京労働局で四年間勤務し、平成三一年四月から神奈川県労働局で勤務しております。神奈川県労働局では、横浜北署と神奈川労働局で勤務し、今年度から横須賀署で勤務しているとのこと。

東京労働局時代に安全衛生業務を二年間、神奈川県労働局時代に防災業務を二年間経験した以外は、ずっと監督業務に従事していたとのこと。横須賀労働基準監督署での職務および職務を遂行するにあたってのご抱負・目標・気にかけていることをお聞きしました。

ものだと感じています。企業の労務・安全衛生担当の方々は、そうした法令と真面目に向き合いながら、実務に取り組んでくださっていて、大変ありがたく思っております。

私としては、企業の担当の方々が疑問や悩みを直面したとき、監督署が法令と実務との橋渡し役になって助言・支援をさせていただき、結果として労働者の方々がその労務に見合った待遇と安全配慮を受けられるような社会づくりに貢献できたら、と考えています。

そのほか読者にお伝えしたいことをおたずねしました。「働き方改革のため頻繁に法令・届出様式が改正され、また、労働者とフリーランスの処遇改善・就業環境整備にむけて様々な要請をさせていただく中、逐次ご対応くださり誠に感謝しております。今年度からは、建設業、自動車運転者、医師に対する時間外労働の上限規制も適用され、関係業界の方々は対応に迫られていることと思えます。行政の立場として、できる限りの支援を行ってまいりますので、いつでもご相談ください。」

横須賀労働基準監督署管内の印象や休日の過ごし方等についてお聞きしたところ、次のお返事をいただきました。「横須賀署管内の印象は、観光で史跡や公園を巡ったことがあり、近代日本を支えた軍港と造船の街という印象を持っていました。」

休日には、最近SNS等で外国の方と接する機会が多いのですが、外国語をほぼ話せないのです。せめてチャットでのやり取りくらいできたらいいなと思います。学生時代ぶりに外国語を学んでいます。」

(文責 西川)

事務局だより 《8月～9月行事計画》

http://www.roaneikyo.or.jp/shibu/yokosuka/index.html

- ☆労務・安全衛生講習会  
開催日：8月8日(木)  
会場：市立勤労福祉会館 (ヴェルクよこすか)
- ☆安全体感訓練  
開催日：8月24日(土)  
会場：住友重機械工業株 横須賀製造所内
- ☆第1種衛生管理者受験準備講習会  
開催日：8月27日(火) 28日(水)  
会場：市立勤労福祉会館 (ヴェルクよこすか)

- ☆リスクアセスメント研修  
開催日：9月10日(火)  
会場：市立勤労福祉会館 (ヴェルクよこすか)
- ☆安全衛生推進者養成講習会  
開催日：9月17日(火) 18日(水)  
会場：市立勤労福祉会館 (ヴェルクよこすか)

～ 令和6年度 神奈川労務安全衛生大会 ～

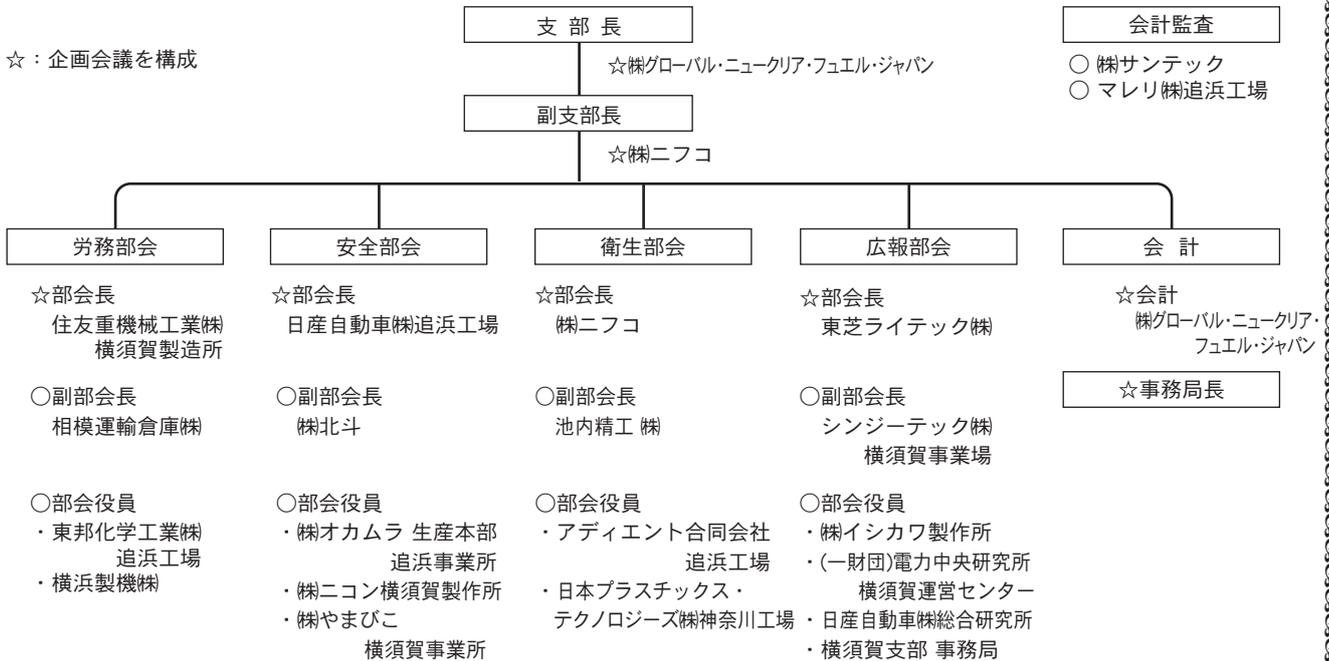
日時：令和6年11月27日(水) 14:00～17:00  
会場：崎陽軒本店5F マンダリン(横浜市西区高島町2-13-12)  
参加費：無料  
申込：9月19日(火) 10:00より申し込み開始  
神奈川労務安全衛生協会HP内の特設バナーからお申し込み下さい。

※1. 会場予約・講師の都合により日程を変更する場合があります。詳細はその都度発行される案内をご参照ください。  
※2. 新型コロナウイルス感染拡大の状況、受講者数により中止とさせて頂く場合があります。予め御了承下さい。



(公社) 神奈川労務安全衛生協会横須賀支部役員構成

(令和6年4月～令和8年3月)



労働条件の向上を図るための労働管理に関する教育・研修会・講習会等の実施

産業安全の定着を図るための安全に関する教育・調査研究・講習会等の実施

労働衛生水準の向上と健康の維持増進を図るための労働衛生に関する教育・調査・研修会・講習会等の実施

支部の事業活動及び会員相互間の情報提供を目的とする広報活動並びに表彰等に関する事項の実施

お気軽に、ご相談ください！  
安全衛生診断・改善指導、安全衛生教育・講演  
化学物質のリスクアセスメント教育等

**白須労働衛生コンサルタント事務所**  
所長 白須 吉 男  
〒239-0845 神奈川県横須賀市栗田 1-23-10  
電話 (FAX) **046-848-2301**  
E-mail: yshirasu@jcom.home.ne.jp

**nifco**

ニフコは「小さな気づきと技術をつなぎ、心地よい生活と持続可能な社会を創造する」会社です。

**株式会社ニフコ**  
本社：神奈川県横須賀市光の丘5-3  
技術開発センター：神奈川県横須賀市光の丘5-2  
URL <https://www.nifco.com/>

デザイン・オフセット印刷・オンデマンド印刷

**有限会社 舟津印刷**  
〒220-0061 横浜市西区久保町31-23  
TEL: **045-242-3171** (代)  
FAX: **045-241-0478**  
E-mail: lei05155@nifty.com



21世紀 企業の発展は  
働く人の健康確保から

50人未満の事業場の事業主・労働者の皆さん 地元の産業医による健康保健サービスをご利用ください (無料です)

**三浦半島地域産業保健センター**  
(神奈川産業保健総合支援センター・三浦半島窓口)  
〒238-0005 横須賀市新港町1-11 (横須賀市医師会館内)  
TEL&FAX 046-822-3053